

2015 ~ 2016へ 宮の橋行動

宇都宮民報

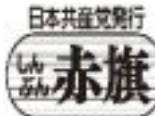
発行 日本共産党 宇都宮市委員会 弥生1丁目7-11 旭コーポ1階 634-8722

戦争法廃止の流れを継いで



宮の橋から戦争法廃止の訴えと署名を行う皆さん。左から福田くみ子市議・荒川つねお市議・4人目は野村せつ子県議

激動の2015年もいよいよ残すところ、あとわずかとなりました。日本共産党宇都宮市委員会は12月17日、午後4時30分より毎週木曜日定例の宮の橋からの「戦争法廃止の国民連合政府実現」と戦争法廃止の世論と運動の発展をめざす戦争法廃止



の全国2000万人署名への協力を訴えました。この日、12月市議会を終えたばかりの荒川つねお・福田くみ子両議員も駆けつけ、野村せつ子県議ともども、仕事帰り・学校帰りの市民に訴えました。日没の時間でしたが、急ぎ足を止め、署名に応じる人や激励も多く寄せられました。安倍首相など自民・公明政権は、立憲主義を踏みしり、憲法違反で強行した戦争法への国民の怒りも、「年が明けてお正月のお餅を食べれば国民は忘れてしまつ」と期待しています。しかし、そのようなあさはかな期待は、新しい年とともに、必ず裏切られるでしょう。2015年の宮の橋行動は、年内はこれだけめくられますが、新しい年、2016年には、戦争法廃止の国民連合政府実現に向けて、宇都宮からも市民の共同と連合によるたたかいの輪を大きく広げることに繋げていく宮の橋行動となりました。



小林名誉教授は、「立憲主義」主権者としての責任」と題して講演。「立憲主義を守る旗を掲げる候補者でまとも、参院選挙に勝たなければならぬ。正義はこちらにある。正義は必ず勝つ」と強調しました。小林県委員長は、戦争法について「自衛隊がアメリカと海外で戦争することに道を開く憲法違反の法律です。安倍内閣は立憲主義を壊した」と指摘。「国民連合政府」を実現させ、戦争法を廃止すると主張しまし

政治の過失は 政治でとりもどす

立憲主義守る旗で力を合わせよう

市民・学生の集い

「そもそも憲法って何？市民・学生たの集い」が14日開かれました。集いは、政治経済問題講演会を企画する「とち塾」（荒木大樹代表）が企画。小林節慶応大学名誉教授が記念講演し、小林名誉教授と石川裕一郎聖学院大学教授、日本共産党の小林年治栃木県委員長によるパネル討論が行われました。小林名誉教授は、「立憲主義」主権者としての責任」と題して講演。「立憲主義を守る旗を掲げる候補者でまとも、参院選挙に勝たなければならぬ。正義はこちらにある。正義は必ず勝つ」と強調しました。小林県委員長は、戦争法について「自衛隊がアメリカと海外で戦争することに道を開く憲法違反の法律です。安倍内閣は立憲主義を壊した」と指摘。「国民連合政府」を実現させ、戦争法を廃止すると主張しまし



パネル討論で発言する小林名誉教授（中央）